

卒業生修了生アンケートのまとめ（平成 21 年度末に実施）

平成 18 年度卒業生・修了生 338 名（卒業生 272 名・修了生 66 名）を対象に、平成 22 年 1 月 20 日から 2 月 26 日にかけてアンケートを実施した。アンケート調査票発送件数は 338 名であり、33 名から回答を得た。回収率は 9.8%である。回収率は前年度よりもさらに下がっており、アンケートの実施に工夫が必要と思われる。

I. 分析

修士修了生からの回答は、わずか 6 名であるため、データのみを示した。以下は、学部卒業生からの回答についての分析である。

【全般的な質問】

高知大学での勉学や生活で満足できたものは、「研究室での卒研やゼミ」が一番多く 73%であった。次いで、「友人との出会い」(77%)、「先生との出会い」(58%)、「授業」(31%)と続く。

教育研究施設（学習環境）については、62%以上が「満足できた」または「ほぼ満足できた」と回答している。

就職支援活動については、「満足できた」または「ほぼ満足できた」と回答しているものが 43%であった。個別記述には、評価する意見が比較的多い。

【コース分属】

第 1 希望のコースに分属できたものは 100%であった。現在は全員が希望のコースに分属できる制度になり、不本意分属の問題は解消したと言える。転学部・転学科・転コースの申請をした学生はいなかった。

【シラバス】

理学部の授業シラバスについては、回答者の 97%が「役立った」または「役立つこともあった」と答えおり、昨年より改善されている。85%が授業はシラバスの授業計画に沿って「実施されていた」または「ほぼ実施されていた」と評価している。

【受講科目の感想】

理学部開設授業（講義、実験、演習、セミナー）で満足できた授業の数は、40 以上(15%)、30－40(30%)、20－30(30%)、10－20(26%)、10 以下(0%) という分布で、昨年度と比べて改善傾向が認められる。満足した理由としては「専門分野の実力がついた」が 82%で最も多く、昨年度最も多かった「親切で丁寧な授業であった」が 56%とそれに続いている。他方、満足できなかった授業の数は、40 以上(4%)、30－40(4%)、20－30(15%)、10－20(30%)、10 以下(49%) であり、やはり改善の傾向が見られる。このような改善傾向が確かなものかどうか、今後注視していく必要がある。

【標準履修モデル】

授業科目については、授業内容や難易度において適切に「配置されていた」と「概ね配置されていた」は、基礎教育科目と専門コア科目で 96%、専門コア教育科目と専門専攻教育科目で 89%を占め、昨年同様の結果になっている。また、各教育コースの教育目標は標準履修モデルと「合致していた」または「概ね合致していた」が 89%であった。

【専門科目への要望】

「より高度な授業内容を実施してほしい」という要望に「全くそのとおり」または「概ねそのとおり」と回答した者が 81%と昨年よりもさらに多くなっている。さらに「難しい

授業が多すぎるので、もう少しレベルを下げてほしい」と回答した者は少なく、より高度な授業を望む声が多くなっているようである。この意見は、在学生の意見と比較する必要があるが、社会に出ての実感であるのかもしれない。学生の求めるレベルよりも授業レベルを下げてずれが生じているのか、あるいは学生の学力較差が大きくなっているのか、見極める必要がある。

【成績評価】

成績評価の方法については、85%が「成績評価は適切に行われた」または「概ね適切であった」と回答している。

【卒業研究】

卒業研究を全員必修にすべきと答えた学生は 52%と昨年より 42 ポイント減っている。この数字の意味を今後吟味していく必要がある。

【授業改革】

理学部の各学科が開設している授業科目数と内容については、「適切である」または「概ね適切である」をあわせて 85%であった。

【アドバイザー教員制度】

アドバイザー教員の指導・支援については 76%が「適切であった」または「概ね適切であった」と回答しており、おおむね学生の望む形の制度になっているようである。

卒業生アンケート

【所属】

1. あなたの所属していたコースを下記より選んでください。
- A. 数理科学コース(19%) B. 情報科学コース(11%) C. 物質基礎科学コース(11%)
D. 物質変換科学コース(7%) E. 生体機能物質工学コース(19%)
F. 生物科学コース(7%) G. 地球史環境科学コース(7%) H. 防災科学コース(19%)

【全般的な質問】

2. 高知大学での勉学や生活で満足できたものを下記より選んでください。（複数回答可）
- A. 授業(31%) B. 研究室での卒研やゼミ(73%) C. 先生との出会い(58%)
D. 友人との出会い(77%) E. 課外活動(42%) F. 親からの自立(35%)
G. その他(0%) ()
3. 高知大学での勉学や生活で満足できなかったものを下記より選んでください。（複数回答可）
- A. 授業(61%) B. 研究室での卒研やゼミ(22%) C. 先生とのトラブル(6%)
D. 友人とのトラブル(0%) E. 課外活動(28%) F. 親からの自立(11%)
G. その他(6%) ()
4. 共通教育（一般教育）の授業は満足できるものでしたか。
- A. 満足できた(7%) B. 満足できる授業が多かった(59%)
C. 満足できる授業が少なかった(33%) D. 満足できなかった(0%)

・パワーポイントを使った発表資料を作成するなど、パソコンを使った授業は、ためになったと思う。パソコンに慣れていなかったため。英語関係はもっとレベルを上げてほしい。高校生ではない。

- ・TOEIC、危険物などの資格にやく立つ講義があってもいいと感じて。
- ・①卒業に必要な履修する生徒が大半でそいつらはやる気がないわけでその空気が教授にも伝染してダラけた雰囲気となること多々。教授はそれでも授業せなあかん、かわいそう。 ②「とりたい」より「しかたなく消去法でこれを履修」という方が多かった。重複する題目も多いのでバリエーションを増やして欲しい。
- ・専門とは違う分野の話を聞くことで視野が狭くならず済んだ。
- ・人数が多いため(仕方ないと思いますが…)

5. 教育研究施設（学習環境）は満足できるものでしたか。

- A. 満足できた(11%) B. ほぼ満足できた(67%)
C. あまり満足できなかった(22%) D. 満足できなかった(0%)

- ・実験装置、設備環境は不十分でした。
- ・メディアの森や自習学習する環境はよかった。3年前は建てかえる前だったので、理学部生物の標本庫などが、整理されていなかったように感じ、不満だった覚えがある。
- ・もう少し自習できる場所があってもよい。
- ・自習室がもっとあれば良かったです。(テスト前などメディアの森の自習席はうまってしまうため、席の確保ができないことがあったため。)
- ・2006年頃に一部の教室の黒板がホワイトボードに換えられたが、非常に見え辛かった。色の濃いペンのストックが常備されていないと、薄い文字を見続けることになり非常に目に悪い。

6. 高知大学の就職支援活動は満足できるものでしたか。

- A. 満足できた(22%) B. ほぼ満足できた(33%)
C. あまり満足できなかった(26%) D. 満足できなかった(19%)

- ・就職を目指し、採用試験対策講座を受講するも、結果がついてこなかった。
- ・就活支援は十分でした。自分の希望通りの職につけた。
- ・今の就職に直接結びついたわけではないが、いろいろ考えたり、マナーを学んだり、色んな仕事を知れて大変よかった。河田さんがいらっしゃる、とても頼りにさせて頂いた。あの時の就職活動がなければ今の自分はないと思う。
- ・進学したため、どのような事をやっているのか分からなかった。
- ・進学を希望していたので利用した記憶がない。
- ・大勢に対する画一的指導は充実していた(セミナー、ガイダンス、リクナビ呼んでくるとか)。ただし個々人に関しては支援室に行かないかぎり支援もなく、『自ら働きかけるのが困難・不可能な人』は取り残されたのではないかと自己責任で。
- ・就職支援室へ相談へ行った事があります。とても丁寧に相談にのっていただけて、助かりました。就職活動に向けた高知大生向けのイベント等を、もっと開催していただけたらよりよかったかと。
- ・あまり利用しなかったから

7. 在学中に高知大学公認あるいは非公認のボランティア活動に参加したことがありますか。

- A. ある(26%) B. ない(74%)

8. 「ある」と答えた方に質問します。その活動は満足いくものでしたか。

- A. 満足できた(71%) B. ほぼ満足できた(29%)
C. あまり満足できなかった(0%) D. 満足できなかった(0%)

- ・ボランティアは何にせよ、とてもよい経験、勉強になる。ぜひ、今しかできないことをたくさんしてほしい。

・学生自治会の活動は大学公認の活動なのか？大学祭運営ばかり優遇されていて他の活動との扱いの差が大きいに感じた。また、近年の学生のニーズに合わない活動内容が多く、交渉事等がグレーゾーンが広いため発展に限界が見える。

続いて理学部に関する質問です。

【コース分属】

9. コース分属は希望どおりでしたか。
A. 第 1 希望コースに分属した(100%) B. 第 2 希望コースに分属した(0%)
10. あなたは転学部・転学科・転コースの申請をしたことがありますか。
A. はい(0%) B. いいえ(100%)
11. あると答えた方のみに質問します。申請は受け入れられましたか。
A. はい B. いいえ

【シラバス】

12. 理学部の授業シラバスについてお聞きします。シラバスは授業選択に役立ちましたか。
A. 役立った(41%) B. 役立つこともあった(56%)
C. あまり役立たなかった(4%) D. 役立たなかった(0%)
13. 授業はシラバスの授業計画に沿って実施されていましたか。
A. 実施されていた(1%) B. ほぼ実施されていた(74%)
C. 余り実施されていなかった(11%) D. 実施されていなかった(0%)

【受講科目の感想】

14. あなたが在学期間中に受講した理学部開設授業（講義，実験，演習，セミナー）の印象をお聞きします。満足できた授業の数はおおよそいくつでしたか。
A. 40 以上(15%) B. 30～40(30%) C. 20～30(30%) D. 10～20(26%) E. 10 以下(0%)
15. 満足した理由を下記より選んでください。（複数回答可）
A. 専門分野の実力がついた(82%) B. 親切で丁寧な授業であった(56%) C. 教材を工夫していた(22%) D. 教員の熱意が感じられた(26%) E. 授業が一方的でなかった(19%)
F. 授業内容が斬新だった(7%) G. その他(0%)（具体的に書いてください）
16. 理学部開設授業（講義，実験，演習，セミナー）のうち，満足できなかった授業の数はおおよそいくつでしたか。
A. 40 以上(4%) B. 30～40(4%) C. 20～30(15%) D. 10～20(30%) E. 10 以下(49%)
17. 満足しなかった理由を下記より選んでください。（複数回答可）
A. 実力がつかなかった(36%) B. 不親切でわかり難い授業だった(48%) C. 教材の工夫が見られなかった(40%) D. 教員の熱意が感じられなかった(24%) E. 一方的な押し付け授業だった(20%)
F. 内容が古すぎた(4%) G. 内容は新しいが断片的だった(16%) H. その他(0%)（具体的に書いてください）

【標準履修モデル】

18. 理学部は授業科目を基礎教育科目（現，基礎科目），専門コア教育科目（現，専門科目のコア科目），専門専攻教育科目（現，専門科目）に大別し，カリキュラムを段階的に学べるように工夫しました。基礎教育科目（〇〇学概論等）と専門コア科目（××学 C）は，授業内容や難易度において適切に配置されていたか。
- A. 配置されていた(33%) B. 概ね配置されていた(63%)
C. 余り配置されていなかった(4%) D. 配置されていなかった(0%)
19. 専門コア教育科目と専門専攻教育科目は，授業内容や難易度において適切に配置されていたか。
- A. 配置されていた(33%) B. 概ね配置されていた(5%)
C. 余り配置されていなかった(11%) D. 配置されていなかった(0%)
20. 各教育コースは独自の教育目標を掲げています（理学部ホームページ等を参照してください）。この教育目標は標準履修モデルと合致していましたか。
- A. 合致していた(11%) B. 概ね合致していた(78%)
C. 余り合致していなかった(11%) D. 合致していなかった(0%)

【専門科目への要望】

21. 「より高度な授業内容を実施してほしい」という要望に対するあなたの意見をお聞きます。
- A. 全くそのとおりである(37%) B. 概ねそのとおりである(44%)
C. 余りそう思わない(19%) D. 全く思わない(0%)
22. 「難しい授業が多すぎるので，もう少しレベルを下げしてほしい」という要望に対するあなたの意見をお聞きます。
- A. 全くそのとおりである(0%) B. 概ねそのとおりである(22%)
C. 余りそう思わない(56%) D. 全く思わない(22%)
23. 「最前線の研究成果や手法を学ぶために，実験実習の時間を増やしてほしい」という要望に対するあなたの意見をお聞きます。
- A. 全くそのとおりである(37%) B. 概ねそのとおりである(44%)
C. 余りそう思わない(15%) D. 全く思わない(4%)
24. 「サークル活動やアルバイトとぶつかるので，実験実習等の授業時間を軽減してほしい」という要望に対するあなたの意見をお聞きます。
- A. 全くそのとおりである(0%) B. 概ねそのとおりである(7%)
C. 余りそう思わない(59%) D. 全く思わない(33%)
25. 「社会に出て役立つことを授業に盛り込んでほしい」という要望に対するあなたの意見をお聞きます。
- A. 全くそのとおりである(44%) B. 概ねそのとおりである(26%)
C. 余りそう思わない(30%) D. 全く思わない(0%)

【成績評価】

26. これまで受講した授業について、成績評価の方法は適切であったと思いますか。
A. 適切であった(41%) B. 概ね適切であった(44%) C. 適切でない授業もあった(11%)
D. 適切でない授業がたくさんあった(4%)
27. 成績評点は自分の予想と合っていましたか(成績評価が適切に行われたと思いますか)。
A. 適切であった(22%) B. 概ね適切であった(70%) C. 適切でない授業もあった(7%)
D. 適切でない授業がたくさんあった(0%)

【卒業研究】

28. 現在、理学部所属の学生は主専攻・副専攻を自由に選ぶことができ、副専攻で主専攻と異なる分野を選択した学生に対して、卒業研究を選択科目、あるいは選択不可としているコースがあります。これについてあなたの意見をお聞きます。
A. すべての学生に対し必修がよい(52%) B. すべての学生に対し選択がよい(11%)
C. 学生の進路に合わせ必修と選択の両方を設けるのがよい(37%)

【授業改革】

29. 理学部の各学科が開設している授業科目数と内容は適切だと思われますか。
A. 適切である(11%) B. 概ね適切である(74%) C. 足りない(15%) D. 多すぎる(0%)
30. C あるいは D を選択した人にお聞きます。どんな授業を増やせば(減らせば)よいと思いますか。具体的に書いてください。
・科目数というより、異なる科目でも内容が同じようなものが多いと感じたので、もっと学べる幅を広げてほしいと思った。
・工学の授業を増やすべきだと思います。理学部なので無理だと言えはそれまでですが、希望します。理由として、私は現在企業の研究・開発部内にいるのですが、工学の知識を要求されることが多いと感じているからです。

【アドバイザー教員制度】

31. アドバイザー教員の指導・支援は適切でしたか。
A. 適切であった(38%) B. 概ね適切であった(38%)
C. 余り適切でなかった(23%) D. 適切でなかった(0%)
32. 理学部の教育や高知大学の教育全般について、意見があれば書いてください。
- 授業
- ・科学工学等の工学系の講義を導入する。理由:特に企業では実用学問である工学が仕事で有効なため。
 - ・東京、大阪等で開かれる学会主催の講義も単位として取り扱う。理由:学内では学べない専門的知識・技術を手得したいと望む学生を支援し、優秀な学生を育てる。
- ゼミ・研究室
- ・研究室によってレベルが違いすぎる。週一回は、各研究室の学生に研究報告の義務を負わせる等して教育してほしい。卒研を選択にしましては就職活動がうまくいくわけがないので、必修のままにしておくべきです。研究もしていない学生を企業は採用しません。
 - ・先生との距離が遠い学生と近い学生がいて、それも大学だから・・・と思っていたが、1年生～4年生を通して、

何でも相談できる先生の存在がいなかったのが、少し何とかできればと思う。今となってはもっと積極的に相談に行けばよかったと思うが……。他人に選ばれたアドバイザー教員はちょっときつい。

・高知大は決してはでな授業があるわけでもなく、学祭も、他大学と比べると、地味だと感じるが、それでもあまり不満はない。高知という土地でのんびり青春を送れたことは幸せだったと思うし、戻れるなら高知大学生時代に戻りたいとも思う。就職してからでも勉強はいくらでもできるし、お金にも困らない。学生時代にしかできないことをぜひいっぱいやってほしい。

・あと、専門に入ってから授業のレベルは落とさず、卒論も、自分で選んだテーマでできるだけやらせてあげてほしい。4年の授業数は少ないが、3～4年が1番おもしろく、やりがいがあった。卒論をやってる人とやってない人は就職してからも違うと思う。大変だがぜひみんなにやらせてほしい。何の授業でもそうだと思うが、「自分でテーマを決め、調べ、発表する」という流れがあった授業はとても心に残っている。すべてではないが、時にはそういうのもいいと思う。

・実験は意外に印象に薄い。やはり座学あつての実験だと思う。

・特にありません。6年間、ありがとうございました。

・私の場合、3年生以前と4年生以降では大学で学ぶことへの意識が大きく変わった。講義や実験では、知識の吸収や興味の拡大も受け身になりがちだったが、卒業研究を始めてからはそうはいかなくなった。研究テーマの選択、計算機の扱い、論文の購読、そしてトラブルが発生した時の対処や研究に行き詰まった時の打開。これらは自ら行動することによってしか発展しないし、問題も解決しない。また、3年生までの勉強量の個人差は4年生時にははっきりと現れる。的確な指導をしてくれる教員に巡り会えれば、卒業研究は自らを成長させるまたとない機会になるだろう。私は、卒業研究を行っただけでも高知大学で学んだ価値は十分にあったと考えている。大学によっては卒業研究が必修でないこともある。しかし、高知大学の理学部でそれを許可してしまった場合、短終的な言い方がかもしれないが卒業生のレベルは格段に落ちると私は思う。私は高知大学を卒業して他の大学に進学したが、もし卒業研究を難なく終えていたとしたらとてもやっていけなかっただろう。卒業研究には良い意味での厳しさがある。それが大学から取り去られてしまうことはないとは私は信じている。

修了生アンケート

【所属】

- あなたの所属していた講座を下記より選んでください。
A. 数理科学講座(17%) B. 情報科学講座(33%) C. 物質基礎科学講座(0%)
D. 物質変換科学講座(0%) E. 生体機能物質工学講座(17%) F. 生物科学講座(17%)
G. 地球史環境科学講座(0%) H. 防災科学講座(17%) I. 植物分類・地理学講座(0%)
J. 海底資源科学講座(0%)

【全般的な質問】

- 高知大学での勉学や生活で満足できたものを下記より選んでください。（複数回答可）
A. 授業(33%) B. 研究室での研究やゼミ(83%) C. 先生との出会い(83%)
D. 友人との出会い(67%) E. 課外活動(0%) F. 親からの自立(0%)
G. その他(0%)（ ）
- 高知大学での勉学や生活で満足できなかったものを下記より選んでください。（複数回答可）
A. 授業(25%) B. 研究室での研究やゼミ(25%) C. 先生とのトラブル(0%)

D. 友人とのトラブル(0%) E. 課外活動(50%) F. 親からの自立(25%)
G. その他 (25%))

4. 教育研究施設（学習環境）は満足できるものでしたか。

A. 満足できた(66.67%) B. ほぼ満足できた(33.33%)
C. あまり満足できなかった(0.00%) D. 満足できなかった(0.00%)

5. 高知大学の就職支援活動は満足できるものでしたか。

A. 満足できた(16.67%) B. ほぼ満足できた(66.67%)
C. あまり満足できなかった(0.00%) D. 満足できなかった(16.67%)

・高知大の就職支援はほぼ利用せず。毎ナビ、リクナビを利用した。

6. 在学中に高知大学公認あるいは非公認のボランティア活動に参加したことがありますか。

A. ある(17%) B. ない(83%)

7. 「ある」と答えた方に質問します。その活動は満足いくものでしたか。

A. 満足できた(100%) B. ほぼ満足できた(0%)
C. あまり満足できなかった(0%) D. 満足できなかった(0%)

続いて理学研究科に関する質問です。

【受講科目の感想】

8. あなたが在学期間中に受講した理学研究科開設授業（講義、実験、演習、セミナー）の印象をお聞きます。全体として授業は満足できるものでしたか。

A. 満足できた(50%) B. ほぼ満足できた(50%)
C. あまり満足できなかった(0%) D. 満足できなかった(0%)

9. 満足できた理由を下記より選んでください。（複数回答可）

(ア) 専門分野の実力がついた(83%) B. 親切で丁寧な授業であった(83%) C. 教材を工夫していた(0%) D. 教員の熱意が感じられた(50%) E. 授業が一方向的でなかった(17%) F. 授業内容が斬新だった(0%)
G. その他（具体的に書いてください）(0%)

10. 満足できなかった理由を下記より選んでください。（複数回答可）

A. 実力がつかなかった(50%) B. 不親切でわかり難い授業だった(0%) C. 教材の工夫が見られなかった(50%) D. 教員の熱意が感じられなかった(0%) E. 一方的な押し付け授業だった(0%) F. 内容が古すぎた(0%) G. 内容は新しいが断片的だった(0%)
H. その他（具体的に書いてください）(50%)

・自分の勉強時間が少なく足りず、成長がそれほど出来なかった。

11. 理学部の教育や高知大学の教育全般について、意見があれば書いてください。

- ・実験ができ楽しかった。お世話になりました。
- ・大学の研究活動が内にこもりすぎな傾向がある。広く企業と共同で研究できるように教授陣は外に顔を広げると、より良い成果に結びつくと思います。